

6月27日（水）実施

桑葉ファーム（作業学習）

松崎特産 桑葉 収穫期

松崎町で特産品の桑葉が収穫期を迎えている。同町伏倉で27日、企業組合松崎桑葉ファーム（斎藤省一代表）の作業員と県立東部特別支援学校伊豆松崎分校の生徒ら約30人が葉の摘み取り作業に汗を流した。

（松崎支局・市川幹人）



桑の枝から葉をそぎ落とす作業員＝松崎町伏倉

支援学校生ら摘み取りに汗

約3千平方メートルの桑畑で背丈1・5メートルに伸びた枝を刈り取り、青々とした葉を手際よくそぎ落とした。すぐに工場に搬入し、製茶機で蒸して乾燥させるなどして粗茶に加工。外注先で粉末化される。収穫は9月にも行われ、今年も収穫量15～20トンを見込む。同組合は約5年前から桑葉生産を開始し、農作放棄地を活用して桑畑を拡大してきた。職業体験で同校の生徒を積極的に受け入れ、2017年には農山村と企業の協働活動を推進する県の事業「一社一村しずおか運動」に認定された。

斎藤代表によると、桑葉には食物繊維や糖分吸収を抑える成分などが多く含まれ、健康食品として注目度が高いという。「今後は桑葉生産を通して地域の産業振興と雇用創出につなげていきたい」と話した。